

Art Nouveau Glass

アートヌーヴォーの ガラス展

デュッセルドルフ美術館
ゲルダ・ケプフ・コレクション

2015 7|4 SAT → 9|6 SUN

休館日 = 水曜日、8月10日(月)~14日(金)

開館時間 = 午前10時より午後6時まで(入館は午後5時30分まで)

入館料 = 一般:1,000円、65歳以上:900円、大学生:700円、中・高校生:500円、小学生以下:無料

*20名以上の団体は100円割引 *障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます。

主催 = パナソニック 汐留ミュージアム、東京新聞 後援 = ドイツ連邦共和国大使館、港区教育委員会

Shiodome Museum
ROUAULT GALLERY

パナソニック
汐留ミュージアム



Art Nouveau Glass

アール・ヌーヴォーのガラス展

デュッセルドルフ美術館 ゲルダ・ケプフ・コレクション

ヨーロッパ唯一のガラスコレクションで知られるデュッセルドルフ美術館に寄贈されたゲルダ・ケプフ夫人のガラスコレクションが、このたびドイツ国外では初めてまとまった形で公開される運びとなりました。

仕事の気晴らしに、単に美しい作品に惹かれてガラス作品を購入し始めた実業家ケプフ夫人は、やがて旺盛な好奇心によってガラスという素材の特質や技法を学び、その可能性を的確に理解して、優れた審美眼と洞察力でアール・ヌーヴォーの本質を体現する第一級のコレクションを築きました。アール・ヌーヴォーの源泉として重要な役割を果たしたジャポニスムやシノワズリを色濃く反映したウジェーヌ・ルソー、エルネスト・レヴェイエ、ウジェーヌ・ミシェル、オーギュスト・ジャンなど、パリのガラス工芸家たちの作品群。同様に東洋美術に傾倒しながらやがてそれらを深く吸収し独自の芸術様式を開花させたエミール・ガレ。さらにガレに強い刺激を受けて同時代を並走するドーム兄弟、そして彼らの制作を支えながらも試行錯誤を繰り返して独自の制作にも挑んだデズイレ・クリスチャン、ミュレル兄弟、ポール・ニコラなどのデザイナー、職人たち。ケプフ・コレクションは、アール・ヌーヴォーの二大拠点となったパリとアルザス＝ロレーヌ地方を舞台に繰り広げられた、まさに百花繚乱の「新しい芸術＝アール・ヌーヴォー」の成果を余すところなく示すものと言えるでしょう。折しも19世紀後半、科学技術の発展によりガラスの素材に対する高度な知識が蓄積され、芸術家たちの飽くなき表現への要求と、多種多様な技を駆使する職人たちの果敢な挑戦によって、かつてないほどのガラスの可能性が引き出された時代でもありました。工芸特有の素材や技術の問題などから、デザインの保護、商標登録、特許など、しごぎを削った工場間の競争なども背景にありました。ケプフ夫人は学術研究と出版を条件にデュッセルドルフ美術館にその貴重なコレクションを寄贈しました。本展は作品ごとの詳細な調査と研究成果の恩恵を受けて、アール・ヌーヴォーのガラス芸術誕生の背景とともに、約140点の作品の魅力をより深く知るまたとない機会となることでしょう。



① デザイン：ウジェーヌ・ルソー、パリ、制作：アペール兄弟、クリシイ、台と蓋：パニエ兄弟商会エスカリエ・ド・クリスタル、パリ《台付蓋付花器》、1885-1889年頃



② デザインおよび制作：不詳、販売：パニエ兄弟商会エスカリエ・ド・クリスタル、パリ《象の頭の飾付花器》、1883-1885年頃



③ ドーム兄弟、ナンシー《銀飾金具付花器（オダマキ）》、1898-1900年頃



④ エミール・ガレ、ナンシー、制作：ブルグン、シュヴェーラー商会、マイゼンタル《筒型花器》、1895年頃



⑤ エミール・ガレ、ナンシー《花器（カッコウマツヨイグサ）》、1899/1900年頃



⑥ ドーム兄弟、ナンシー、アンリ・ベルジェ（ナンシー）のデザインに基づく《花器（クリスマスローズ）》、1900-1902年頃



⑦ エミール・ガレ、ナンシー《台付鉢》、1903年頃



⑧ ドーム兄弟、ナンシー、デザイン：エドモン・ラジュナル、パリ《花器（スイセン）》、1897年頃

講演会

「アール・ヌーヴォーのガラス」

講師：假屋崎省吾氏（華道家）

世界的に活躍し、ガラスのデザインも手掛けている華道家・假屋崎省吾氏が、フランスを旅した際の旅行記とあわせ、アール・ヌーヴォー作品について、自身の思いを語ります。

7月7日（火）午後2時～午後3時、パナソニック東京汐留ビル5階ホール
定員150名（参加は無料ですが本展の観覧券が必要です）

ワークショップ

ガラスワークショップ「模様ガラス板を作ろう！」

ガラスのレース模様の棒とモザイクガラスのタイルを使ってオリジナルの豆板を作ります。当日は模様を組み合わせてどこまで制作し、後日プロチ、またはマグネット、皿等の完成品をお届けします。

講師：ガラス工芸・潮工房（小西潮氏、江波富士子氏）

7月18日（土）午前10時～、午後2時～ パナソニック東京汐留ビル3階ホール
定員各回20名 / 小学校5年生以上 / 参加費：¥2,000

【申込方法】

- ・ハローダイヤル 03-5777-8600へお電話にてお申し込みください。
- ・5月11日（月）より受付開始（受付時間 午前8時～午後10時）
- ・必要事項 ①イベント名 ②氏名（要全参加希望者名）③住所 ④電話番号

- ＊簡単なアンケートにご協力いただきます。
- ＊受付は先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ＊お申し込み時にいただいた個人情報は、本イベントの受講管理の目的でのみ使用します。なお、おあずかりした個人情報は、上述の目的での使用に同意いただいたものとさせていただきます。
- ＊定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。

学芸員によるギャラリートーク

7月25日（土）、8月8日（土）、8月21日（金）、いずれも午後2時～
参加無料（入館には本展観覧券が必要です）、申込不要

ルオーギャラリーにて、当館所蔵のルオー・コレクションの中から作品を展示しております。併せてご覧下さい。

①～⑧ デュッセルドルフ美術館蔵、©Stiftung Museum Kunstpalast, Düsseldorf, Foto:Studio Fuis-ARTOTHEK

▶次回予告 ゴーガンとポン＝タワンの画家たち展 2015年10月29日（木）-12月20日（日）

Shiodome Museum
ROUAULT GALLERY

パナソニック
汐留ミュージアム

お問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600
<http://panasonic.co.jp/es/museum>
東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階

【交通のご案内】

JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ
「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分

